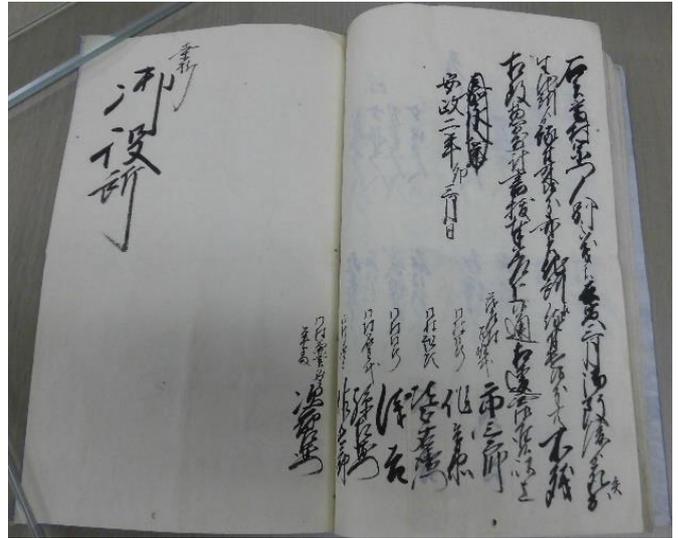


## 茂庭村文書



『真言宗・禅宗・浄土真宗当卯宗門人別持高相改書上帳』表紙（左）と巻末部分（右）

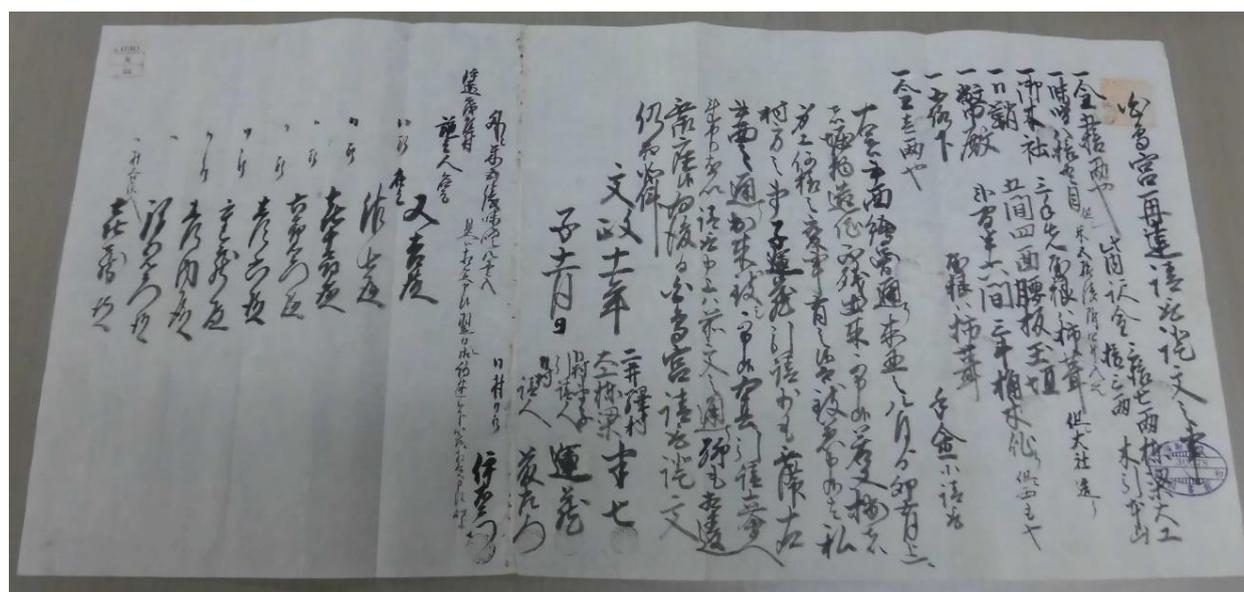
今年度福島県立図書館では「茂庭村文書」についてのデジタル化を行いました。当館所蔵「茂庭村文書」は全36点、すでにその多くが散逸してしまったとされている「茂庭村名主文書」の一部と見られています（福島県歴史資料館でも「旧茂庭村文書」として390点を収蔵）。図書台帳によるとその多くが昭和36年8月に古今堂書店より購入したもので、縦帳の形態が21点、一枚ものの書状の形態が15点です。年代は、不明のものもありますが、享保11（1726）年から慶応4（1868）年にかけて出されたと見られ、内容としては検地帳、宗門人別改帳、名寄帳のほか、上申文書、借用証文、質地証文、請取証文などが主なものとなっています。宗門人別改帳は5点あり一番古いものは天保12（1841）年、順に嘉永2（1849）年、嘉永5（1852）年、安政2（1855）年、安政6（1859）年に出されたもので、時期的には寛政元（1789）年から幕末までの幕府直轄領の時ものと推測され、全て巻末部分には提出先である「桑折御役所」の文字が見て取れます。

茂庭と言えば、茂庭氏の祖である斎藤実良が当時の菅沼に住んでいた大蛇を退治して生贄の娘を救った伝説が有名ですが、この伝説にも出てくる白鳥神社について『白鳥宮再建請取証文之事』という書状が残っていました。白鳥神社について『日本歴史地名大系 第7巻 福島県の地名』には「現社殿は文政一三年（1830）の建立。」とあり、この『白鳥宮再建請取証文之事』には「文政十一年」の文字が見えますので、建立に関しての何らかの文書ではないかと推測できます。

また、安政7（1860）年の茂庭村上下両組小前惣代源左衛門ら三名が、上組名主佐七の不正をあげたとされる事件「茂庭騒動」も知られているところですが、「上組名主佐七」の名前の入った文書で「茂庭騒動」の年代と近いもので「奉差上始末書 茂庭村上組佐七」文久1（1861）年、「乍恐以書付御嘆願奉申上候」元治1（1864）年、「名主 押領 一件 返答書 案」元治1（1864）年などいくつか残っており、「茂庭騒動」以外にも名主と村人の間で度重なる揉め事や争い事があったことが伺えます。

古文書を読み解く作業は大変な労力を要することですが、今回デジタル化したことで資料を傷つけることなくじっくりと読むことができたり、また小さな文字を拡大して見たりすることなどが容易になりました。いずれの文書にしても茂庭村を含めた信達地方の近世史を紐とく手がかりとなる資料となりそうですので、デジタル化によって今後の研究が進むことを期待しているところです。

デジタル化した資料は、CD-ROMに保存しており、館外への貸出も可能ですので、この機会にぜひご利用ください。



『白鳥宮再建請取証文之事』

<参考文献>

- 『日本歴史地名大系 第7巻 福島県の地名』 平凡社 1993
- 『福島市史 別巻5 福島町の町と村 I』 福島市史編纂委員会／編 福島市教育委員会 1982
- 『茂庭の大蛇』 福島商工会議所婦人会／編 福島商工会議所婦人会 2000
- 『福島市史 第9巻 近世資料』 福島市史編纂委員会／編 福島市教育委員会 1971
- 『福島市史 別巻7 福島の文化』 福島市史編纂委員会／編 岩瀬書店 1989

(地域資料チーム 加藤麻依子)

デジタル化した茂庭村文書（36点）	
延宝貳甲寅年伊達郡西根之内茂庭村御検地内訳帳 享保11（1726）	拝借証文・質地帳〔嘉永4（1851）〕
延宝貳年寅四月西根領茂庭村新田改御検地帳 享保11（1726）	拝借証文質地帳 嘉永4（1851）
西根領茂庭村新田改御検地帳 享保11（1726）	真言宗・禅宗・浄土真宗当子宗門人別持高相改書上帳 嘉永5（1852）
申年開新田亥年改書上申帳 享保12（1727）	覚〔嘉永6（1853）〕
本田名寄帳 明和10（1773）	真言宗・禅宗・浄土真宗当卯宗門人別持高相改書上帳 安政2（1855）
新田名寄帳 明和10（1773）	畑高漆野役雑木林永代売譲申証文之事 安政2（1855）
去申拝借金丙ヨリ午迄拾ヶ年返納割合帳〔文政10（1827）〕	御金拝借証文之事 安政3（1856）
白鳥宮再建請取証文之事 文政11（1828）	家数人別嘉永三戌ヨリ同七寅迄五ヶ年分書上帳 控 安政3（1856）
御園高御取調書上帳 天保3（1832）	金子借用申証文之事 安政5（1858）
五ヶ年賦御貸附金拝借証文 天保3（1832）	真言宗・禅宗・浄土真宗当未宗門人別持高相改書上扣帳 安政6（1859）
誰門代官所何国何郡何村高反別小前帳案〔天保4年（1833）〕	差出申一札之事 安政6（1859）
乍恐以書付御答奉申上候 天保5（1834）	奉差上始末書 文久1（1861）
高反別不納屋舗家数人別牛馬相改書上帳〔天保9（1838）〕	対談一札之事 文久1（1861）
乍恐以書付御答奉申上候 天保10（1839）	差出申侘書之事 文久1（1861）
真言宗・禅宗・浄土真宗当丑宗門人別持高相改書上扣帳 天保12（1841）	乍恐以書付御歎願奉申上候 元治1（1864）
乍恐以書付奉願上候 天保15（1844）	〔名主 押領 一件 返答書 案〕〔元治1（1864）〕
乍恐以書付ヲ奉願上候 天保15（1844）	乍恐以書付御答奉申上候 慶応4（1868）
真言宗・禅宗・浄土真宗当酉宗門人別持高相改書上帳 嘉永2（1849）	当村不納地相改書上帳〔不明〕